

会主さまは2月28日を宮本家のご守護尊神、大日大聖不動明王さまの祥月命日であるのご指導くださっております。

そういう縁日でございます、こういう中での供養会をさせて頂けることは大変有り難い事であります。

【お経の上げ方について】

お経を上げる時に、会主さま、大導師さまから頂いたご指導は、鼻から吸って、口から出す。

そういう呼吸をするといい。そういう呼吸の仕方でお題目を唱える、お経をあげるといいよ。そうすると、いつまでたってもあげられるんだよ、とおっしゃってました。喉が枯れずに上げることができるんです。

先日、耳鼻科の先生曰く、このコロナ禍、風邪、インフルエンザの時に一番大切なのは呼吸法と言われました。鼻から吸って口から出す。鼻から吸って口から出せば、7割8割菌が中に入らないんだと。口から吸うとウイルス、ホコリが入ってしまいます。コロナ禍の中での感染をしないような生活のひとつの方法として実践して頂ければ有り難いなと思います。

【コロナ収束・業について】

今日は、感染がなかなか治まらないわけについてお話します。

人間というのは業というものがあります。業障の業です。

業は前世から持ってきています。そして生まれた時からこの業を増やしている。

その結果がいま起きています。

地面の因縁も、人間の業がその土地に沁みこむから起きる。

私たち人間が成長し、亡くなるまで、地面に業を浸透させてしまう。

そして因縁が増える、大きくなって、いろんな障りをするんです。私が、コロナ収束が難しいと言っているのは、人間の業がそうさせている。

更にそれが地面に浸透し、地面の因縁を更に増やす。この繰り返しをしているわけです。

時短営業や、ソーシャルディスタンスをやっているけど、人間の業を何とかしないと、どうにもならない。

私は、コロナが落ち着いたら地震がある恐れがあることも話しました。それも、人間の業なのです。

業が浸透した地面に、いろんな障りをおこさせてしまう。

富士山の噴火の可能性を話したのも同じ事です。

天災とよく言うけど、ここをしっかりとしないと、良くはならないのです。

前世からの業を持ってきているし、今世での業をなんとかするしかない。それができるのは懺悔することだけなのです。

会主さまは懺悔に勝る功德はない、お導きは懺悔の修行。

だからお導きは尊いのご指導下さいました。

まず、妙智會員が自分の懺悔の修行をする。そして、日本の分、世界の分を懺悔する。

「人の分まで懺悔をしても」と思いがちですが、それをする事によって、日本中、世界中の人々の業を少しでも軽くすることは可能だと会主さまは生前中ご指導下さいました。すると皆さんの業、地面の因縁も解決して本当の意味のコロナ収束になるのです。

大導師さまの七回忌法要に向かって皆さんもお導きの修行を頑

張ってくれています。

懺悔をしながらお導きをすることがとても大事です。懺悔のないお導きをしても、お導きの懺悔の功德は頂けないんです。そこはぜひ分かって頂きたい。

業をとるには懺悔しかありません。妙智会員は業が深いのがから、人の分までするのです。業が深い分、その修行をすることで大きな大きな功德が頂ける。

他の国では、今の日本の様な落ち着き方をしていない。有り得ない事が有り得るのが、妙智會なんです。

私たちの欲の業が増えるから中だるみになって解決していない。

懺悔すれば、だんだん業が薄らいでいきます。あと大切なのは、導いて導かれた人が自分自身の業をとらなきゃいけない。その事も忘れないでお願い致します。